



「信用金庫」がサポート



あなたの1歩は、
地球にとっての大きな1歩。



今日からできる SDGs



中小企業の 取組意義



① 社員のモチベーションアップ・成長

SDGsの取組みを通じて、「自社がいかにか世の中の役に立っているか」という存在意義を明確にし、それらを社員にも共有することで、社員は自社を誇らしく思います。そうすれば、離職率が低下し、人材採用コストを抑制することが期待できます。また、自社の「ありたい姿」を社員と一緒に考えて考えることで、社員の成長にもつながるでしょう。

② 人材獲得

SDGsは採用にも影響します。SDGsに関心の高い若い世代にとっては、SDGsの1つでもある働きやすい職場であることはもちろん、仕事を通じて環境保全や社会課題の解決に貢献できることに、企業としての魅力を感じます。

③ 取引縮小リスクへの対応

大企業によるSDGsの取組みが活発化すれば、その取引関係にある中小企業に対してもSDGsへの対応(温室効果ガスの削減、人権尊重に係る取組みなど)を期待することが想定され、未対応であれば取引を解消されるリスクがある反面、先取りすることで信頼度が増すことが考えられます。

④ 取引拡大チャンス獲得

SDGsの達成に資する商品・サービスを創出することで、SDGsに関心の高い企業と新たに取引することができたり、既存取引先との取引の拡大につながりやすくなることも考えられます。

⑤ 消費者からの支持の獲得

若い世代を中心に、社会課題に取り組む企業を応援しながら消費するという「エシカル消費」が増加しています。SDGsは学校の教育課程でも取り扱われていることから、今後こうした考え方はさらに増えていくでしょう。



SDGsとは



●SDGsは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略であり、経済、社会および環境の3つのバランスを取りながら、誰一人取り残さない、より良い世界の実現を目指す世界共通の目標です。2015年に国連で採択され、2030年を期限とした17の目標と、より具体的な169のターゲットで構成されています。

●SDGsでは、「持続可能な開発」がキーワードとなります。これは子どもや孫たちが安心して暮らせる経済、社会および環境を存続させていくことに配慮しながら、今を生きる私たちのニーズも満たしていこうというものであり、決して他人事ではありません。

●私たちは、この考え方を基本として、「2030年どのような会社になりたいか」「どのような社会課題を解決したいか」「ステークホルダーから何を求められているのか」を念頭に置き、その実現に向けて行動していくことが期待されています。

SDGsと 信用金庫



●信用金庫の基本理念である「相互扶助」は、SDGsの「誰一人取り残さない」という理念に大きく通じる点があります。また、信用金庫は「Face to Face」を掲げてお客様と接し、お互いによく理解した密接な関係の構築を心掛けています。

●このように地域に根差した信用金庫だからこそ、地域の皆さまとともに、地域の社会課題にきめ細かく対応していけるものだと考えています。



制作：信金中央金庫 協力：(独)中小企業基盤整備機構 発行日：2022年10月

本リーフレットは情報提供を目的としています。意思決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、制作者が信頼できると考える情報等に基づいて作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。



あなたのまわりの SDGs

1 人・組織・地域 編

SDGsは特別な活動ではありません。あなたもすでに、その一部を実践しているかもしれません。

SDGsをもっと身近に感じてもらうために事例を集めました。

これをヒントに、さあ、あなたも今日から信用金庫と一緒にアクションを！

人

① 働きやすい職場を作ろう！

3 5 8 10 16

●ワークライフバランスが取れるように、人事制度を整備しましょう。仕事と出産・育児・介護の両立を支援する制度を拡充したり、テレワーク、フレックス、副業などの柔軟な働き方を認めたり、「早帰りデー」を導入して長時間労働の抑制に努めたり、仕事の属人化を防ぎ休暇を取得しやすくしたりしましょう。

●メンタルヘルスに配慮しましょう。産業医やカウンセラーへの相談窓口を作ったり、職場での定期的なストレス診断を行ったりしましょう。“雑談”や“笑い”も職場環境には必要だと思います。

●社員のモチベーションを高めましょう。褒めることや感謝を伝えることから始めてみませんか。それらを社内でも共有するとより効果的です。

●業務効率化に努めましょう。急速冷凍機を導入したことで食品の長期保存が可能となり、余裕のある時間帯を有効活用できるようになった飲食店もあります。

② 社員の健康を考えよう！

2 3

●社員に健康で長く働いてもらうことは、人材採用面・育成面でメリットとなります。社員の健康に配慮して、健康診断の受診の徹底、がん検診の推奨、ワクチン接種の補助、受動喫煙防止対策、禁煙外来の補助などに取り組みしましょう。

●社員の健康を考えた設備投資を検討してみましょう。安価かつ健康に配慮した食事がとれるよう社内食堂を設置したり、事業所内にスポーツジムを設置したりする企業もあります。こうした企業では、減塩・低カロリーのメニューの提供や、「運動推奨デー」の設定などの工夫ができます。

③ 多様な人材を生かそう！

1 4 5 8 10

●女性、高齢者、障がい者、外国人など多様な人材雇用は、人材確保になるほか、組織の活性化にもつながります。各々の得意分野や経験を生かして働いてもらったり、商品企画や業務改善で様々な意見を参考にしたりできます。また、力仕事であっても誰もが対応できるように機械化するなど、工夫を凝らしている企業もあります。

●外国人向けには、業務マニュアルの多言語化や日本文化・生活を含めたサポートを意識することが必要です。日本語表記もやさしい日本語を使いましょう。また、賃金や労働契約、労働環境などについて、改善の必要がないか再点検しましょう。

●新しく社屋を建築する際には、ダイバーシティの観点を持ってみましょう。障がい者の雇用を見据えて専用トイレやスロープを設置したり、子育て世代の働きやすさを考えて保育所を設置したり、女性の働きやすさに配慮して女性トイレや専用休憩室を作ったりする企業もあります。



④ 人材を育成しよう！

4 5 8 10

●社員を育てましょう。資格取得や社外研修の費用を会社が負担したり、社員がいつでも講習を受けられるように研修動画を作成したりする企業もあります。

●地域住民向けの教育にも貢献しましょう。商店街や学校、児童館で自社の知見を講義したり、職業体験会や工場見学会を開催したりすることもできます。

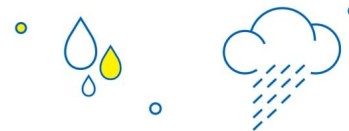


組織

① 事業の継続性を高めよう！

1 8 9 11 13

●事故、災害、感染症の拡大などに備えたBCP(事業継続計画)を策定しましょう。そして、定期的に訓練をして、“いざ”という時に備えましょう。また、訓練を通じて新たに認識した課題があれば、BCPを見直しましょう。●事業承継に備えましょう。社員や取引先にも迷惑がからないように、早め早めに専門家に相談しましょう。



② 公正な取引をしよう！

1 2 8 10 16

●貧困や飢餓の観点から、発展途上国で作られる原材料の購入に際して、「フェアトレード」を意識するのも1つの方法です。

③ 生産性を高めよう！

2 8 9

●IT化を進めましょう。これまで手作業で行っていたものをデジタル技術に置き換えることで労働時間が抑えられ、生産性が向上します。また、SNSや動画を活用したPRやセールスにもチャレンジしていきましょう。



地域

① 地域経済を盛り上げよう！

1 2 4 8 9 10 11 12

●地域の貧困改善に貢献しましょう。フルタイム労働を希望する人の積極的な正社員化のほか、短時間だけ働きたい人、自宅働きたい人、障がい者などに業務を切り出すことができれば素晴らしいですね。フードドライブ(家庭で余っている食品を集めて寄附する活動)を行う企業も増えていますね。

●地域の資源を積極的に活用しましょう。地域の資源をブランド化して販売したり、地産地消に取り組んだりしましょう。新たな顧客層を獲得できるかもしれませんね。地産地消は輸送エネルギーの負担も減らせます。

●空き物件の有効活用を考えましょう。古民家や廃校をリノベーションして飲食店や宿泊施設にしたり、高齢者や子どもの憩いの場にして本業への集客につなげたりする企業もあります。

●地域の文化や産業を守るために、地域の伝統行事に積極的に関与しましょう。地域の産業を知ってもらうために、工場案内や会社説明などを住民向けに行う企業もあります。自社商品・サービスのPRにもつながりますね。

② 安心して住み続けられる地域をつくろう！

6 9 11 16

●地域の防災に貢献しましょう。防災活動への参加や、自社の資源の提供を考えてみましょう。自社の敷地が災害時の拠点となるように「かまどベンチ」を設置したり、避難者に配布する非常食や簡易トイレを備蓄したり、災害用自動販売機を設置したりする企業もあります。

●きれいな住みよい街を作りましょう。店周や人通りの多い駅前などで、有志を募って清掃活動を行う企業がありますね。継続することで、周囲からの温かい声が増えていくようです。

「信用金庫」がサポート

今日からできる SDGs

あなたのまわりのSDGs

2 環境編

SDGsは特別な活動ではありません。あなたもすでに、その一部を実践しているかもしれません。

SDGsをもっと身近に感じてもらうために事例を集めてみました。

これをヒントに、さあ、あなたも今日から信用金庫と一緒にアクションを！



① 省エネに取り組もう！

電気代の削減にもつながります。

7 8 9 13

- クーラーやウォームヒーターを取り入れて、環境を意識した室温（冬は低め、夏は高め）に設定しましょう。
- 離席時にパソコンがスリープモードになるように設定しましょう。
- 昼休み時間帯は消灯し、残業時間帯は必要な場所だけ点灯するなど、社内の節電を奨励しましょう。
- LED照明、高効率空調設備・給湯器など省エネ対応設備を導入しましょう。
- フィルムやブラインドなどを用いて窓の断熱性や遮熱性を向上させましょう。

② 温室効果ガスを削減しよう！

クリーンなエネルギーを利用しよう！

7 8 9 11 13

- 通勤では公共交通機関や自転車の利用を奨励して、マイカー通勤を減らしましょう。
- 再生可能エネルギー由来の電力への切替えを検討してみましょう。
- 営業車はEVやハイブリッド車など環境に配慮した車を検討してみましょう。外出先に応じて公共交通機関や自転車を利用しましょう。

③ 3R(リデュース、リユース、リサイクル)に取り組もう！

6 7 8 9 11 12 13 14 15

[リデュース]

- 商品を軽量化することで、処分時のゴミを減らすとともに、材料が減るためコストカットにもつながります。梱包する段ボールの軽量化に取り組む企業もあります。
- 商品を長持ちさせることや、修理・メンテナンスの体制を整えること、詰め替え用商品を開発することなどもリデュースにつながります。
- 社員に向けては、エコバッグやマイボトルの使用を推奨しましょう。

[リユース]

- 使われなくなった商品を回収して整備し、再使用しましょう。中古品として福祉施設に寄贈したり、下取りした機械を新興国で販売したりする企業もあります。

[リサイクル]

- 廃棄物を再利用しましょう。廃棄物を丁寧に分別することで、再利用可能な資源を抽出できることもあります。
- 農業や林業関連では、間伐材をバイオマス燃料などに幅広く活用しています。活用されない樹木でキノコを栽培し、キノコの収穫後に不要となった菌床を堆肥として活用する企業もあります。

④ 森や海などの自然環境を守ろう！

2 3 6 11 12 13 14 15

[森]

- 紙の無駄遣いをやめましょう。その印刷、そのコピー、本当に必要か考えてみましょう。
- ペーパーレス化に取り組みましょう。会議をオンラインで行ったり、給与明細、契約書などを電子化したりしましょう。文書保管コストも削減できます。
- 名刺やコピー用紙に使用する紙は、森林保全を意識したものを選びましょう。再生紙やFSC®認証紙などが選択肢となります。
- 敷地や屋上の緑化に取り組みましょう。そのほか、植林活動をしている企業もあります。希望を募って社員家族も参加すれば、教育を兼ねたレクリエーションにもなります。

[海]

- 自社商品・サービスを見つめ直し、プラスチックの削減に取り組まましょう。商品容器、外袋、梱包用緩衝材（プチプチ）、ストロー、スプーンなどは、バイオマスプラスチックや紙などで代替することを検討しましょう。
- 海洋生態系にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組みがありますので、そうした認証のある魚介類を扱うことも一考ですね。
- 節水を心掛けましょう。水を大量に使用する工場では、雨水を利用している企業もあります。水道代の節約にもつながります。
- 排水処理にも気を遣いましょう。排水処理基準を満たすことはもちろんのこと、植物成分からできたヘアカラー剤を用いている美容院や、環境対応型インキであるノンVOCインキ（石油系溶剤1%未満）を使用している印刷会社もあります。



DATE 伊達信用金庫

制作：信金中央金庫 協力：(独)中小企業基盤整備機構 発行日：2022年10月

本リーフレットは情報提供を目的としています。意思決定はご自身の判断でなされるようお願いいたします。また、制作者が信頼できると考える情報等に基づいて作成していますが、正確性および完全性を保証するものではありません。



あなたのまわりのSDGs



3 環境／業種別編



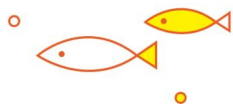
飲食業

[運営・対応]

- 場所や時間帯に応じて空調設定温度を調整しましょう。空調や換気フィルターの清掃も省エネにつながります。
- プラスチック製品の削減に取り組みましょう。
- 食品ロスを防ぐために、衛生面に配慮したうえで、食べ残しの持帰りを推奨しましょう。宴会時の「3010 運動」(乾杯後30分・お開き前10分の自席での食事)も顧客に紹介しましょう。
- 海洋生態系にやさしい方法で行われている漁業や養殖業を認証する仕組みがありますので、そうした認証のある魚介類を扱ったメニューを考えてみましょう。
- フライヤーは適切な温度で使用するほか、営業開始時間に合わせて点火するようにしましょう。
- 廃油は適切に処理をしましょう。無料で回収してくれる、燃料に再利用している企業もあります。

[設備]

- 照明、空調、冷凍冷蔵設備等については、高効率の設備を導入することで、電力使用量を抑えることができます。



卸売業・小売業

[運営・対応]

- 倉庫や室内の空調設定温度を適温にしましょう。ブラインドによる日射の遮蔽も有効です。
- 省ける照明を間引いたり、照度を調整したりしましょう。清掃によって照度も上がります。開店前や閉店後の点灯時間の削減にも努めましょう。
- 買い物袋の持参を推奨しましょう。有料レジ袋はバイオマス素材のものを採用し、過剰な包装も止めましょう。食品トレイなど再資源化可能なものは、回収に努めましょう。
- 規格外品は規格外品として販売しましょう。スーパーであれば、食品ロスを削減するために、「てまえどり」(消費期限が近く、手前に陳列された商品の購入)を推奨したり、早めに見切り商品として扱ったり、子ども食堂に無償提供したりする企業もあります。また、食品流通における、納入期限を賞味期限の3分の1以内とする商慣行を緩和することも検討しましょう。
- 家庭で使いきれなかった未使用の食品を集め、福祉施設に提供している企業もあります。

[設備]

- 照明、空調、冷凍冷蔵設備等については、高効率の設備を導入することで、電力使用量を抑えることができます。

建設業・不動産業

[企画・設計]

- 建設資機材を調達する際は、リサイクル製品や環境への影響を低減した製品などの「グリーン調達」を心掛けましょう。
- エネルギー収支ゼロの建物(ZEB、ZEH)を目指しましょう。太陽光発電や蓄電システムを設置したり、高効率照明・空調を導入したり、日射遮蔽や自然換気を設計に取り込んだり、高断熱窓や高断熱外皮を使用したりすることで、環境にやさしい建物になります。

[建築]

- 建築現場では、EVやハイブリッド車など騒音や環境に配慮した建機を使いましょう。

[解体]

- 解体材の分別を徹底し、再利用可能な資材のリサイクル率を向上させましょう。石膏ボードを段ボールに再生したり、古民家で使われていた古木をインテリア資材として再利用したりする企業もあります。

- 空調機を取り外す際には、冷媒ガスの回収・再生・破壊など適切に処理しましょう。



運輸業・郵便業

[車両・運転]

- EVやハイブリッド車など環境に配慮した営業車を導入しましょう。
- アイドリングストップを励行しましょう。デジタル式運行記録計)を活用し、急加速・急減速等を把握して、運転者へのエコドライブ教育に活用しましょう。

[配送]

- 不在再配達を減少させるために、玄関前など指定された場所に荷物を届ける「置き配」サービスを導入している企業があります。

- 配送ルートを効率的に見直しましょう。他社と共同配送を行っている企業もあります。

[倉庫]

- 倉庫内の節電に取り組むために、室温調節器を導入したり、室内灯に人感センサーを設置したりする企業もあります。

製造業

[製造設備・工場]

- エネルギー負担の少ない高効率の設備を導入しましょう。また、運用効率を落とさないように、定期点検を大事にしましょう。
- 工場の屋根や敷地が太陽光発電に適しているかもしれません。また、工場の新設や移転を考えている場合は、輸送距離も勘案しましょう。工場を集約すれば、工場間の輸送距離が短くなり、エネルギー負担を軽減できます。

[原材料・製造工程]

- 環境負荷の低い原材料を使用しましょう。

- 不良品の削減や省エネに向けて製造工程の改善余地を探しましょう。エネルギー消費量や廃棄量を見える化し、原因分析や改善に取り組んでいる企業もあります。食品の製造工程で発生する副産物を飼料や肥料にしている企業もあります。

[製品]

- 使用時のエネルギー消費が少なく、環境にやさしい製品の開発を試みるのはいかがでしょうか。さらには、長持ちし、処分時にもリサイクルができると良いですね。

[納品・配送]

- 商品の大きさに合わせて、梱包資材を調整しましょう。梱包資材を小さくできれば、一度に配送できる量が増えて、トラック等による輸送回数を減らせますね。梱包用緩衝材の脱プラスチック化も検討しましょう。

- 食品製造業であれば、賞味期限表示を「年月日」から「年月」に変更することで食品ロスの防止につなげることが期待されています。

医療・福祉

[運営・対応]

- デイサービスや介護施設では、昼食の残食を減らすために、利用者全員の嗜好調査を実施している企業もあります。送迎ルートの最適化にも取り組みましょう。

- 医療機関でのオンライン診療は、移動の削減にもなります。

[設備]

- 照明、空調、冷凍冷蔵設備等については、高効率の設備を導入することで、電力使用量を抑えることができます。